

森のおくりもの 3月



マンサク (マンサク科)



写真：黒川周子 (レンジャー)

今年度のバードテーブルには、昨年度の常連のシロハラとアカハラは来ておりません。そのかわり、たくさんのアトリやカワラヒワが来ており結構にぎわっております。また、小さくかわいいアカネズミとヒメネズミの生体展示も行っており、皆様の癒しのスポットとなっております。森の中では、マンサクやセリバオウレンが咲き始め、いよいよ森の春の幕開けです。

(館長 菊池正行)

つぶらな瞳がこぼれそうっ アカネズミ（赤鼠）



観察センターでは、ただ今「森のネズミの生体展示」をしています。今年はアカネズミ3匹、ヒメネズミ3匹がそれぞれ別のケースに入っています。鼠というと、ドブネズミなどの家ネズミを連想し、嫌なイメージをもつ人もいるかもしれませんが、多くのネズミは森林に生息しています。森のネズミは、家ネズミのイメージと異なり、かわいい顔をしていますよ。体を丸めて、両手でエサを食べている姿は、丸くてとてもかわいらしいです。（エサを食べている姿を見たい方は、9時ごろがおすすめ。）

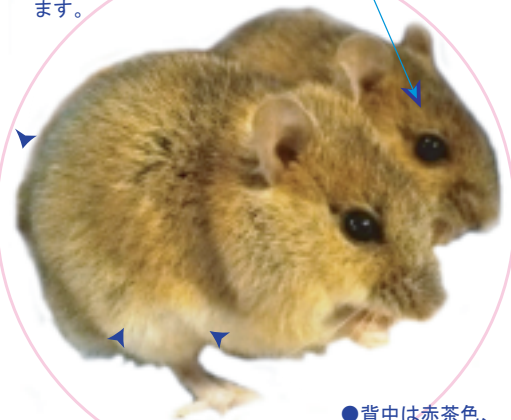
ドングリなどの堅果を巣穴や落ち葉の下へ貯蔵する習性があり、食べ残されることによって、種子散布されることが、野外実験によって実証されています。アカネズミが種子を選択し、適切な環境に運び、適切な深さに埋めることによって、植物の更新に一役かっているのです。（一方で、植物の実生も食べますが・・・）

繁殖期が春と秋にあり、春に生まれた子は秋には繁殖することができる上に、1回に3-7頭の仔を生むので、エサが豊富な年は、沢山増えます。

◆日本の広葉樹にだけくらしている。夕方になると活動を始める。

●写真には写ってませんが、体と同じぐらいの長さの尻尾があります。

●大きく飛び出した真ん丸な目は見ていてこぼれないかと心配になるほど



●後ろ足の筋肉が発達していて、70cmほどのジャンプ力を持つ

●背中は赤茶色、腹は白色のツートンカラー。

【頭胴長：約90-130mm】

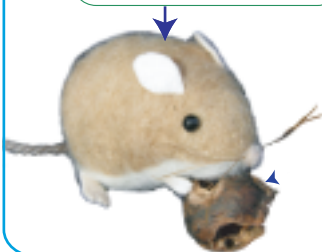
【尾長：約70-115mm】

【体重：約30g~60g】

ヒメネズミの4倍近く!!

食痕を見よう

「大きさのめやす」として展示しているアカネズミ模型



●縫合線

●クルミを食べるときは、縫合線（殻果の継ぎ目）に沿って真横から左右2方向に穴をあけて中身を食べるので、特徴のある食痕が残ります。（未熟なアカネズミは1個のクルミに対して3か所、穴をあけたりもする。）

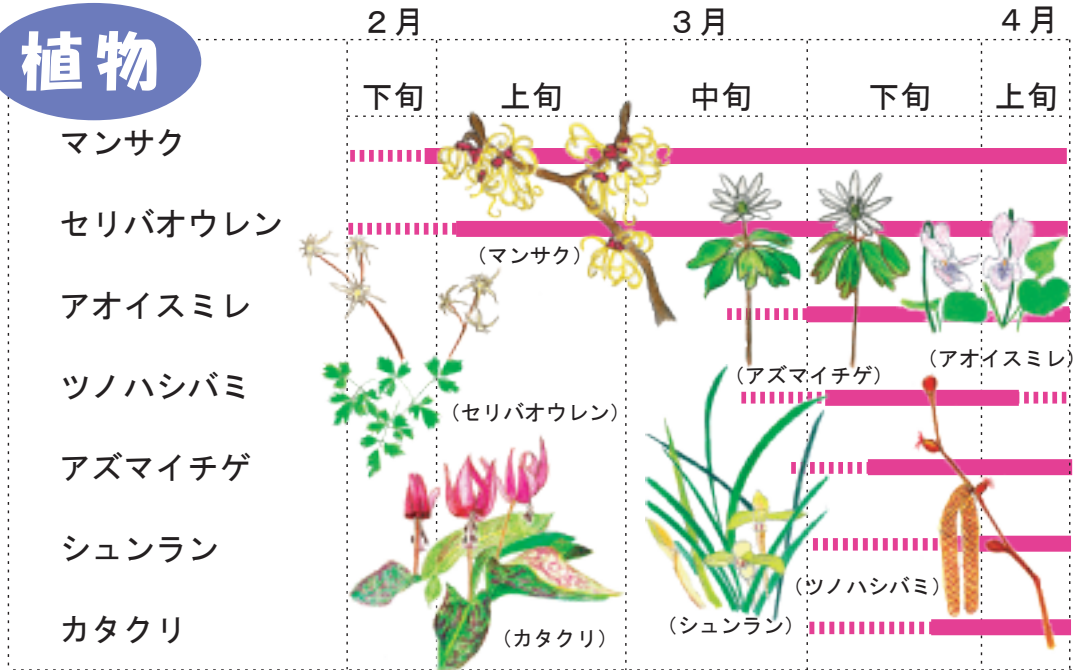
●ネズミは一生伸び続ける前歯を持つといわれていますが、アカネズミ属は例外で、**伸び続けません**。歯の減り具合からおおよその月齢・年齢が推測できるようですよ。

【レンジャー：黒川周子】

* 観察の森付近で見かけるネズミの仲間：アカネズミ・ヒメネズミ・ハタネズミ。
（ジネズミ・トガリネズミは、名前に「ネズミ」とつきますが、ネズミの仲間ではなく、モグラの仲間です。）

3月の生物ごよみ

植物

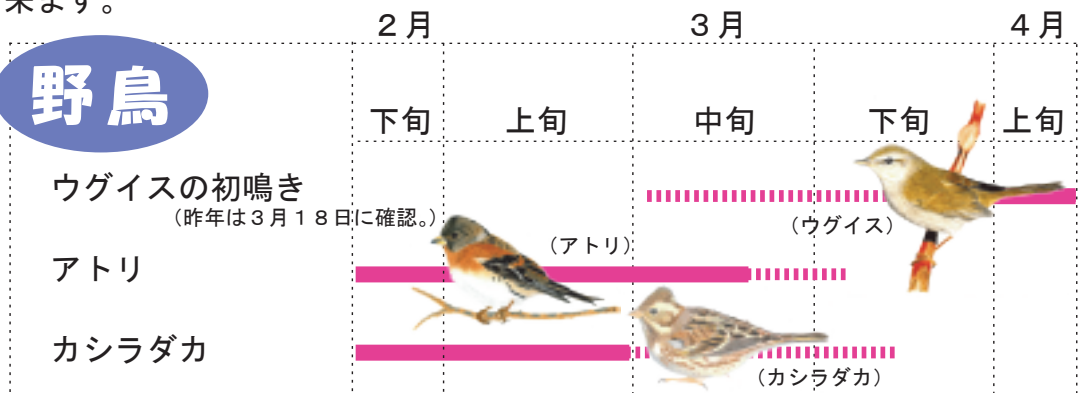


早春を知らせるマンサクの花。『まず咲く』ということからこの名前が付けられました。みはらしの道を巡回中、太白山を背に綺麗にマンサクの花が咲いていました。数日前までは固くつぼみを閉ざしていたのですが、気付けば至る所で黄色い花を咲かせていました。昨シーズンはあまり花付がよくなかったマンサクですが、今年はたくさんの花芽がついています。マンサクは場所を変え1ヶ月近く花を楽しむことができます。



2015年2月24日
【みはらしの道で咲いていたマンサクの花】

野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その10 『スギナとツクシの役割分担』

早春の野原にいち早く顔をだす**ツクシ**は、シダ植物**スギナ**が胞子を飛ばすために伸ばす特別な茎です。春のよく晴れた日には、風に揺られたツクシから緑色の細かい粉のような胞子が飛んでいくのが見えます。

スギナ

胞子を飛ばすための器官であるツクシには、光合成をするための色素が含まれていないので淡紅色～薄い茶色をしています。スギナは光合成をするための器官なので緑色をしています。このように、スギナとツクシは役割分担をしているので、スギナが胞子を飛ばすことはありません。ごくたまにスギナのとっぺんにツクシのような頭がくっつくことがあります。ミモチスギナと呼ばれます。



ミモチスギナ

ツクシ



地下茎でつながるスギナとツクシ



ツクシの先端についている筆のような形の部分は、八角形の雨傘型の構造の集合体です。その雨傘型の構造の裏側には胞子の詰まった袋である【胞子囊】がたくさん並んでいます。

ツクシから緑色の粉が飛ぶのは、熟した胞子が乾燥によってバラバラになり胞子囊を破いて飛び出してくるから。



ツクシの構造



胞子を飛ばし終わったツクシはすぐに枯れてしまいます。ツクシが終わると今度はスギナの出番。スギナは夏の間中栄養分を地下の根っこに貯え、来春のツクシの準備を進めています。スギナは増えすぎて困りものですが、お茶にして飲めるようですよ。試してみたい方はおなかをこわさないように、少量でお試しください。



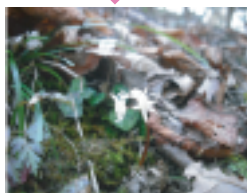
新人レンジャーの巡回日記



3月になり、暖かい日が日一日と増えるにつれて、自然観察の森も春の雰囲気がかくんできてきています。先月にご紹介したマンサクの鼻も、現在では、満開に近い場所もあります。今回は、マンサクに続いて観察の森で咲き始めた春の先駆けの花についてご紹介します。



キラキラと白く光っているようです。



練香花火のように咲いています。

昨年の4月、私が自然観察センターに勤務したばかりの頃にセンター前の広場や、園内のいろいろな道で、白く光っているような花が群がっているのが、とても印象的でした。その花の名前は、葉の形がセリの葉に似ていることからセリバオウレンといい、私が観察の森の植物の中で初めて名前を知ることになった植物でした。あれから間もなく一年が過ぎようとする森の巡回中に、また、あの白く光る花が細くて小さいながらも抜群の存在感で姿を見せ始めてくれました。久しぶりの再会に、一年前の感動がまた戻ってきました。これから暖かい日が続くと園内のいろいろな場所で観察することができるようになりますので、お楽しみに。

イベントの報告



2月21日(土)に「木の実で作るひな飾り」のイベントが行われました。今回は、飾りの材料となる木の実を探すことから始めました。森の中から松ぼっくりやドングリ等、思い思いの物を選びながら楽しそうに歩いていました。センターに戻ってからは、いよいよ飾り作り。色紙を切ったり、小さな木の実を接着したりすることが、ちょっと細かくて難しい所もありましたが、みんなで協力しながら頑張っ、みなさんとてかかわいいひな飾りを完成させることができました。

※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。

【レンジャー：鷺 千尋】



のイベント & お知らせ

◆「森の講話会～里山の動物とひとのかかわり～」

・野生動物の専門家に里山に暮らす”動物”と”ひと”の関係をお話いただきます。

日時：3月21日（土）午後13:30～15:30

定員：40名〔先着〕

申込み：3月6日（金）午前9時より電話で



◆おはよう野鳥観察

・講師による案内で、早春の森へ野鳥を探しにゆきます。

日時：3月14日（土）6:30～8:00

申込み不要です。時間までに観察センター前までお越し下さい。

◆「小鳥のレストラン」終了間近！ 3月31日（火）まで。

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催となります。お間違いのないようお越し下さい。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

3月の開催日は
**1日、8日、15日、
22日、29日**です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよ！！

3月の休館日

2日、9日、
16日、23日、
30日



宮城交通バスの場合

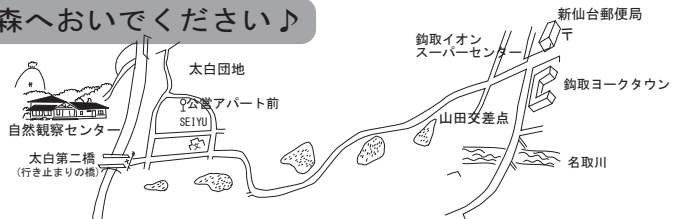
仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



スタッフBLOG開始しました！
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2015年3月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>